

議員提出議案第10号

CV22オスプレイの横田基地配備に反対する意見書

上記の議案を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

平成30年9月13日

提出者 西東京市議会議員 森 住 孝 明

賛成者 西東京市議会議員 森 信 一

西東京市議会議員 二 木 孝 之

西東京市議会議員 かとう 涼 子

西東京市議会議員 納 田 さおり

CV22オスプレイの横田基地配備に反対する意見書

防衛省は8月22日、米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイ5機が米空軍横田基地に10月1日正式配備されると発表しました。構造的な欠陥を持つオスプレイは、重大な事故とトラブルが頻発しています。2016年12月にはMV22オスプレイが名護市の安部海岸に墜落、2017年8月には、普天間基地所属のMV22オスプレイがオーストラリアで墜落など、重大な事故が起きています。

CV22オスプレイは特殊作戦を任務とすることから、MV22オスプレイと比較しても過酷な訓練を行うことにより、事故率も大きく上回っています。

また、前倒しで横田基地に配備することを発表した4月以降、横田基地での離着陸は急増しています。住宅が密集する上空を飛んで、首都圏の大和田通信所や所沢通信基地で離着陸を行うなどし、住民から苦情や不安が寄せられています。全国で飛行が目撃され、横田基地を拠点に低空飛行訓練などの危険な訓練を日本全土で行っている可能性が指摘されています。

現在でも住民や自治体の要請に耳を傾けず、訓練を繰り返しているCV22オスプレイが正式に配備されれば、その特性を生かした任務として夜間飛行や低空飛行などの訓練がさらに増大し、首都圏はもちろん、全国の住民を事故の危険、騒音被害にさらすことは明らかです。

この間、オスプレイの事故に加え、米軍機の墜落・落下事件も相次ぎました。こうした事故の原因究明がなされない以上、オスプレイ配備による事故の再発防止にはなりません。よって西東京市議会は、人命にかかわる重大な事故につながるCV22オスプレイの横田基地配備に反対します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成 年 月 日

西東京市議会議員 小幡勝己

提出先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣